



下野市立祇園小学校 令和7年度 学校だより 第9号

祇園小学校ホームページは  
こちらから  
お問い合わせ下さい  
下野市立祇園小学校

# きよんばら

チャレンジ(挑戦)する学校

目指す児童像

- 健康で明るい子(たくましく)
- 進んで学ぶ子(かしこく)
- 心の豊かな子(なかよく)

令和8年1月吉日発行 校長 高山 靖子

## ◆「あいさつ」について、今あらためて考えてみませんか?◆

朝、子どもたちの登校を見守るために通学路に出て「おはよう!!」と声をかけると、元気に「おはようございます」と挨拶してくれる子、少し恥ずかしそうに小さな声で答える子、会釈で気持ちを伝えてくれる子など、様々な反応が見られます。それら一つ一つがとても大切で嬉しい瞬間です。ただ、なかには、登校班の列に紛れて目を合わせないまま通り過ぎていく子もいました。また、地域の方々からは「子どもたちのあいさつに元気をもらっている」という声をいただく一方で、「声をかけても反応がなくて、少し寂しく感じる」という声をいただきました。

12月中に全児童、全保護者の皆様にご協力いただいた「学校生活に関する調査(※次頁に結果を掲載)」の結果でも、「挨拶をしている」と肯定的な回答をした児童は 78.7%と、13項目の質問の中で唯一 80%を下回っていました。子どもたち自身も、正直に「あいさつできないなあ~」と振り返って自己評価していることがわかりました。

これらの実態をふまえて、冬休み明けに学校では、各学年で担任が子どもたちと「あいさつすることの意味は?あいさつはなぜ大切なのか?」ということについて一緒に考え、思いを伝え合いました。

あいさつは、ただの言葉のやりとりではありません。

あいさつは、人とつながる第一歩です。「私はここにいます」「あなたの存在に気付いています」「あなたと関わろうとしています」「あなたを大切に思っています」という意思を、言葉と態度で相手に伝える行為です。あいさつは、自分も相手も大切にする心を形にしたものだととも言えると思います。

あいさつを交わすことでの存在を認め合い、安心して過ごせる雰囲気が生まれます。心と心がつながり、思いやりと信頼が育ちます。祇園小をそんな学校にしたいのです。

このようなあいさつの大切さについて、まずは子どもたちが納得できる言葉で確認をしていきます。

それでも行動に移せない理由としては、恥ずかしさ、不安、相手との距離感や気持ちの切り替えの難しさなど、それぞれにその子なりの抵抗感があるのだということもわかります。大人が思う以上に、「あいさつをする」という行為は、子どもにとって勇気のいることでもあるのでしょうか。

だからこそ学校では、「できるようになること」を目指して次の3点を大切にしながら子どもたちの成長を支えていきます。

ご家庭でもぜひ、この機会に、あいさつの意味を、お子さんと今一度お話し下さい。

また、「今日は声が出たね」「気持ち、伝わったよ」と過程を認める声かけをしていただければと思います。子どもたちが一歩を踏み出す大きな力になりますから。

そして、ご家庭、地域、学校で、私達大人が率先して温かい挨拶を交わしていきましょう。子どもたちは大人の姿を見て学びます。これからも子どもたちの成長のために力を貸しください。

おはようございます!



- ◎目を見てうなづくことから気持ちを伝えよう
- ◎小さな声でも返せたことを認めよう
- ◎あいさつが生まれる雰囲気や場面づくりをしよう

## ☆学校生活に関する調査（学校評価）の結果について☆

12月に児童と保護者の皆様に回答へのご協力をいただいた「学校生活に関する調査」の結果をお知らせいたします。この結果と教職員による自己評価の結果をもとに、教育活動等の改善策を検討していきます。学校運営協議会においても委員の皆様からご意見をいただきます。保護者の皆様には、お忙しい中、回答にご協力いただきましてありがとうございました。

※数値は「A よくあてはまる」と「B ややあてはまる」の肯定的評価を合計した割合(%)で示しました。

	評価項目	R6	R7		評価項目	R6	R7
①	保 お子さんは、楽しそうに学校に行っている。	91.7	95.0	⑧	保 お子さんは、行事に熱心に取り組んでいる。	96.3	95.4
	児 学校が楽しい。	87.3	88.9		児 行事に一生懸命取り組んでいる。	94.0	94.9
②	保 お子さんは、授業内容をよく理解している。	88.8	87.5	⑨	保 お子さんは、マナーを守って食事を楽しんでいる。	89.2	88.3
	児 授業は分かりやすい。	92.6	89.5		児 マナーを守って、楽しく給食を食べている。	94.0	91.9
③	保 お子さんは、友達と協力して学習に取り組んでいる。	91.7	92.9	⑩	保 お子さんは、安全に気をつけて生活している。	95.4	95.0
	児 友達と協力して勉強している。	90.8	87.5		児 安全に気をつけて、生活している。	94.0	93.6
④	保 お子さんは、学校や家でほんを読んでいる。	72.1	73.0	⑪	保 お子さんは、進んで運動している。	79.6	78.3
	児 読書が好きで、学校や家で本を読んでいる。	78.8	82.4		児 体育の時間や休み時間などに進んで運動している。	79.2	80.4
⑤	保 お子さんは、思いやりをもって生活している。	95.8	97.5	⑫	保 お子さんは、小中交流事業に楽しく参加している。	91.3	89.7
	児 思いやりをもって生活している。	90.5	92.9		児 中学生と活動するのは楽しい。	92.2	84.1
⑥	保 お子さんは、誰にでも挨拶をしている。	77.9	79.0	⑬	保 学校は、保護者や地域と協力し合っている。	95.4	97.2
	児 誰にでも挨拶をしている。	81.3	78.7		児 保護者や地域の人と活動するのには楽しい。	91.5	88.5
⑦	保 お子さんは、係活動や清掃に熱心に取り組んでいる。	92.9	96.1		児童 296名回答 99% 保護者 282名回答 94%		
	児 係活動や清掃にしっかり取り組んでいる。	94.0	93.6				

### 《 結果から 》

①についてはほとんどの保護者が「お子さんは楽しく学校に行っている」と評価してくださいました。児童の「学校が楽しい」の評価も上がってきています。⑤の「思いやりをもって生活している」の評価も児童、保護者共に上がっており、道徳教育や人権教育の成果と思われます。今後も学校が、児童にとって安心できて居心地のよいものになるよう仲間意識を高める学校、学級経営を行っていきます。また、肯定的評価をしていない児童については、教育相談等の機会に個別に丁寧に思いを聞き対応してまいります。

②③の学習について、児童の評価が昨年度に比べ下がっています。授業の中で、友達の考えを聞き話し合いながら学びを深めることをねらった授業づくりを行ってきましたが、学び合いの深まりに課題が見られます。②「授業は分かりやすい」に否と回答した児童への個別対応も含め、見直しを図っていきます。

昨年度肯定的評価が低かった④の読書については、児童は「本を読んでいる」と答えた数が増加しました。学校で、読書活動に力を入れている成果と思われます。⑪「進んで運動をしている」は、児童は昨年より若干高くなっていますが、今後も意識的に体を動かす働きかけを行っていく必要があると思われます。

⑥の挨拶については、前頁で触れたとおり、丁寧に継続した支援を行っていきます。ご家庭のご協力もお願いいたします。⑫については、小中一貫教育の取組が進む一方、中学生との交流活動の内容や方法に工夫が必要かと思われます。立地の近さを活用してより充実した活動を展開していきます。

児童の結果は、これからの指導に生かしていきます。保護者の皆様、学校運営協議会委員の皆様からいただいたご意見は真摯に受け止め、より良い学校となりますように努力して参りたいと思います。ありがとうございました。